

# かけはし

今年度より春号・秋号の  
2回発行となります。

## 住民と共に地域福祉活動計画の着実な実践と、在宅支援サービスの質の向上を目指します

国の地域共生社会（我が事・丸ごと）の推進を受けて、共に支えあい、助けあう地域づくりを目指した平成29年度に策定した第3次地域福祉活動計画に基づき、分野を横断した地域福祉活動をさらに充実し、地域福祉推進に向けた活動や在宅支援サービスの質の向上を目指します。また、単独の相談機関では十分に対応できない「制度の狭間」「複合的な課題」などの個別ニーズや地域ニーズに応えられる体制の整備を着実に進めます。

- ① 地域福祉活動計画の「7つのあい」（全市の取組）と各町の目標の実現に向け、住民活動への支援と社協の活動を着実に実践します。
- ② 高齢者、子ども、障がい者などの分野別の相談・支援だけでなく、世帯丸ごとの課題に対応できるように相談・支援体制を強化します。
- ③ 専門職としての職員の資質を向上する教育研修を行います。
- ④ 住民との協働による事業・サービスでは、住民と社協の役割を整理し、統廃合を進めます。

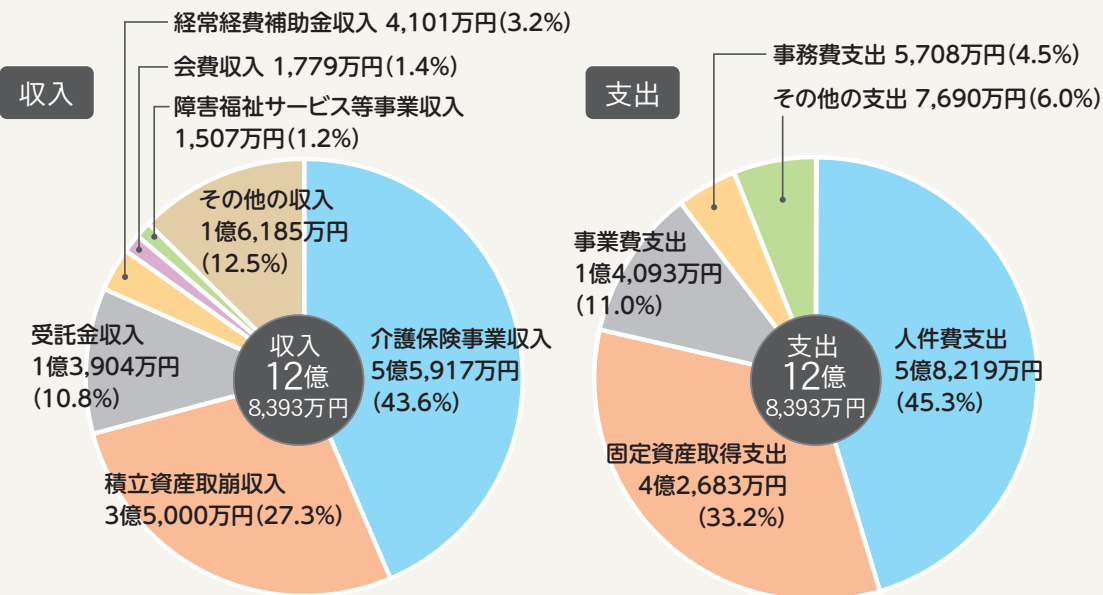
〈註〉分野毎の縦割りや「支え手と受け手」の関係だけでなく、地域住民や各種団体が地域の課題を「我が事」として捉え、地域住民や各種団体が「丸ごと」つながり、住民一人ひとりの暮らしや生きがいを共に創っていく社会のこと。

### 重点目標

- I 住民と共に実践する地域づくりを進めます。
  1. 住民を主役とした積極的な支えあい活動を推進します。
- II 相談体制・支援体制の強化を図ります。
  1. 総合的に住民からの相談を受け、ニーズに応えられる体制を整備します。
  - ① 地域に向向いての住民との関わりの中から、また、サービス利用者・事業参加者との関わりの中からニーズを発見し、相談を行い、解決につなげます。
  2. 社協内の協働体制を強化します。
  - ① 各部署（部門）間の横断的な協働体制をさらに強化します。
  3. 職員の育成を強化します。
- III 現行の事業サービスの目的に応じた住民と社協の役割を明確にしていきます。
- IV 地域共生社会の実現に向けた複合施設運営体制の整備を推進します。
  1. 職員がそれぞれの立場で役割を考え、実行します。
  2. 社協の専門職としての役割を確実に実行していきます。

### 平成31年度 予算

※サービス区分間繰入金  
収入・支出を除く



一宮地区複合的サービス拠点建設のため、積立資産を取崩して建設費用に充当する予算となっています。

### 一宮地区複合施設について

- 住み慣れた地域において、誰もが分け隔てなく支え合う、共生型社会の構築を推進しており、二〇二〇年春の開設に向けて、準備を進めています。
- 介護保険サービス（通所介護事業所（デイサービス））
- 障害サービス（就労継続支援B型、生活介護）





『あなたにも私にもできるまちづくり』～支え合う活動への第一歩～



第1部 記念式典

平成31年2月24日(日)、笛吹市スコレーセンターにて、第11回 笛吹市社会福祉大会を開催し、約230名の方々が参加しました。第1部の記念式典では、笛吹市の地域福祉の発展に貢献された7名14団体の方々に表彰状・感謝状が贈呈されました。

▶▶ ボランティア活動功労賞 ▶▶

ボランティア活動において具体的な実践活動を5年以上継続して行っており、その功績が顕著である個人及び団体。

- 菅本幸子様〔二宮〕
- 中村英樹様〔八代〕
- 丹澤節子様〔八代〕
- 一宮北小学校ふれあいボランティアの会様〔二宮〕
- 境川小児童会様〔境川〕
- 春日居見守りたい様〔春日居〕
- 傾聴ボランティア「赤ずきん」様〔笛吹市〕
- ふえふき女衆ボランティアの会「こぎげんよう」様〔笛吹市〕
- ふえふき防災・災害ボランティアの会様〔笛吹市〕

▶▶ ボランティア活動奨励賞 ▶▶

ボランティア活動において具体的な実践活動を行っており、その功績が奨励される個人及び団体。

- 北小安全ボランティアの会様〔石和〕
- 境川小読み聞かせボランティア様〔境川〕
- 境川小子ども見守り隊ボランティア様〔境川〕

▶▶ 金品感謝状 ▶▶

社会福祉施設、団体に対し、10万円以上に相当する金品の寄付、あるいは労力の提供等により貢献された個人及び団体。

- 内藤謙一様〔石和〕
- 雨宮隆様〔八代〕
- 早河正弘様〔二宮〕
- 株式会社小山電気様〔御坂〕
- 花柳彩三郎日本舞踊研究所様〔二宮〕
- 一宮町南野呂区様・一宮町南野呂区公民館様〔二宮〕
- 笛吹市社会福祉チャリティーゴルフ大会実行委員会様〔笛吹市〕
- 株式会社大塚製薬工場様〔東京都〕

▶▶ 特別感謝状 ▶▶

本会活動に功績顕著な個人及び団体。(本会の理事・監事・評議員を5年以上務めた者。その他、会長が認めた個人及び団体)

- 野澤今朝幸様〔菅川〕



参加された皆様からの声

実績の報告は興味深く、今後の自分の活動の参考になりました。  
(50代民生委員)

現在の高齢者問題は深刻であると感じました。地域の人たちとの交流を大切にしていきたいと思います。  
(60代ボランティア)

高校生さんが良かったです!!  
こんな若者が笛吹を支えてくれるのはうれしいと思いました。  
(40代介護保険事業所関係者)

山梨県というとても高齢化の進んでいる地域にとって、大きな問題だと思いました。1人ではできないことも、地域とつながることで大きな力となるので、何かできればと思いました。  
(30代ボランティア)



第2部 基調講演・シンポジウム

第2部の基調講演・シンポジウムでは、参加された皆様が支え合い活動を始める第一歩を踏み出すための機会とすることを目的に、市内で行なわれている住民の自主的な支え合い活動について、なぜ活動を始めたのか、どうやって始めたのか等、「始めること」に焦点をあて、報告会を行いました。

基調講演では、講師の永田祐氏(同志社大学社会学部教授)より、地域共生社会の実現を目的とした我が事・丸ごとの地域づくりについて、国の動向や全国の実践例を踏まえてのお話がありました。

続くシンポジウムでは、シンポジストの皆さんよりそれぞれの支え合い活動について、実践内容と始めたきっかけを発表していただきました。また、会場の皆さんへ「支え合う活動への第一歩」を踏み出すためのメッセージをいただきました。

参加された皆様が「自分にもできるまちづくり」は何かを一緒に考え、支え合う活動への第一歩を踏み出すきっかけとなりました。